

在モンリオール総管轄地域内の概況(2026 年 6 月)

(公開情報に基づくもの)

1 政治

(1) ケベック(QC)州

- ・6 月 3 日、スミス・アルバータ(AB)州首相がケベックを訪問。フレシェット州首相と両州の政治・経済関係強化に向けた意見交換実施。
- ・6 月 9 日、ワグナー・カナダ最高裁長官は、公務員の宗教的シンボル着用禁止等を定めた州の政教分離法「州法 21」をめぐる最高裁判決が 10 月に実施予定の QC 州選挙前に下される可能性があると言。
- ・6 月 10 日、州政府は、2025 年 11 月に突然廃止された州の移民プログラム「ケベック経験プログラム (PEQ)」を 2 年限定で復活させ、対象となる一時移民は例外的に利用できるようすると発表。フレシェット州首相のケベック未来連合(CAQ)党首選公約の一つ。
- ・6 月 12 日、州議会で総選挙前最後の会期が終了。可決された主要な法案には、新たな選挙区割り(2 議席増え全 127 選挙区に)を定めた法案 3、精神疾患患者を強制的に入院させることを可能にする法案 23、パートナーの家庭内暴力の前科に関する情報入手を可能にする法案 4、16 歳未満へのエナジードリンク販売を禁止する法案 9、林業・鉱業企業等に対する規制を軽減する法案 11 が含まれる。「ケベック憲法」を定めた法案 1、仏語保護強化に関する「州法 96」の適用除外事項を前倒し更新する法案 2、英語による職業訓練と成人教育へのアクセスを制限する法案 8 等は廃案となる。
- ・6 月 12 日、モンリオール警察(SPVM)は、市北部のモンレアル＝ノール区の夜間パトロール隊 1 班を解散し、人種差別やヘイト行為を行った疑いで同班に所属していた 16 人の警察官を捜査中、うち 2 人は停職処分にしたと発表。一部の警察官が黒人やアラブ系住民の髪の毛を切って戦利品扱いしていたとの報道。
- ・6 月 16 日、フレシェット州首相とスキート州国際関係・仏語圏大臣は、州の新国際政策を発表。「激動する世界の中で信頼できるケベック」と題し、近年大きく変わった世界情勢をふまえた内容。州の権限を対外的に行使するという、州が長年実践する「ジェラン＝ラジョワ原則」に加え、州は州の利益を最優先するためカナダが署名したいかなる国際協定(加米間で交渉される予定の新たな貿易協定が念頭との報道)からも脱退する権利を留保するという点を含む。
- ・6 月 22 日、モンリオール市コート＝デ＝ネージュ区で銃乱射事件発生。SPVM 警察官 1 人と市民 1 人が死亡し、容疑者(1 人)は射殺された。市民や政界に大きな衝撃。モンリオール市、州議会はじめ州各地で半旗が掲げられる。容疑者が「インセル(女性憎悪)」思想にもとづく犯行声明を残していたとの報道。
- ・6 月 22 日、サンピエール＝プラモンドン・ケベック党(PQ)党首は、ケベック独立に関する「青書」の未発表部分を含む全編(ただし先住民に関する章を除く)を発表。PQ は 2025 年 11 月以降、国際政策、通貨、憲法、市民権に関する章は発表済みであった。先住民に関する章は、ケベック・ラブラドル・ファーストネーション議会代表には提出済みで、今夏公開を目指す。「青書」は 500 ページ超で構成され、アイデンティティ、経済、財政、独立への道のり、仏語、環境等、幅広いトピックを網羅。君主制を廃止し大統領を元首とする共和制の導入、州内の連邦機関の 77%は廃止またはケベック機関に統合する、といった内容も含む。現状 PQ は世論調査において、政党支持率トップ(約 30%)で次点の自由党(PLQ)をわずかに上回り、ケベック独立への支持率は約 30%にとどまっている。

(2) ノバスコシア(NS)州

・6月23日、ケープ・ブレトン島に新設された Chéticamp–Margarees–Pleasant Bay 州選挙区における選挙実施の結果、与党進歩保守党(PC)候補のブルジョワ氏が48%の得票率で勝利。アカディア人が多く住む同地域が独自の選挙区を持つのは1世紀ぶり。州議会の総議席数は56となり、政党別ではPC43、NDP9、自由党3、無所属1。次回総選挙は2028年実施予定。

(3) ニューブランズウィック(NB)州

・6月4日、クーン州緑の党党首が辞任を発表。後任が決まるまでは党首にとどまり、議員も続ける意向。緑の党は2014年にクーン氏が当選し、州議会で初めて議席を獲得した。

・6月12日、カナダ最高裁は、NB州の副総督は英仏バイリンガルでなければならないとの判決を下す。副総督が特定の任務を遂行できる唯一の人物であるというのが理由。2019年、NBアカディア協会は、英仏2言語を公用語とするNB州において、仏語が話せないマーフィー前副総督の任命は違憲であるとして訴訟を起こした。カナダ最高裁は、マーフィー氏が在任中に署名した法律等は無効にならず、また今回の判決の適用範囲はNB州に限り、カナダ総督等連邦機関には適用されないと明言(サイモン前カナダ総督も仏語が話せなかった)。

2 各州世論調査結果

(1) 州政党支持率

- ・QC州(シノプシス調べ、6月5～8日): ケベック党(PQ)31%、自由党(PLQ)25%、与党ケベック未来連合(CAQ)21%、ケベック保守党(PCQ)12%、ケベック連帯(QS)11%、その他1%
- ・QC州(パラス調べ、6月10～12日): PQ29%、PLQ25%、CAQ20%、PCQ14%、QS11%
- ・QC州(レジェ調べ、6月12～15日): PQ30%、PLQ27%、CAQ21%、PCQ13%、QS8%、その他2%

(2) ケベックの独立

- ・QC州(レジェ調べ、6月12～15日): 賛成31%、反対69%

(3) 連邦政党支持率

- ・QC州(シノプシス調べ、6月5～8日): 与党自由党47%、ブロック・ケベコワ(BQ)25%、保守党17%、新民主党(NDP)6%、緑の党4%

3 経済

(1) QC州

- ・6月2日、連邦政府は、公共交通機関やインフラ整備事業のために10年間で総額100億加ドルの交付金を支給することで州政府と合意。この資金によりケベック市の路面電車プロジェクトが大きく前進。
- ・6月6日、マルシャン・ケベック市長が貿易ミッションでベルギーとイタリアを訪問。2029年の仏語圏市長国際協会会議や世界最大級の自転車国際会議「ベロシティ」招致を目指す。
- ・6月9日、ユニクロは、今秋、ブロッサールのDIX30を含むカナダ国内5ヶ所に新規出店を発表。
- ・6月9日、サンピエール＝プラモンドン PQ党首は、ケベックシティとトロントを結ぶ高速鉄道(TGV)計画はカナダ統一強化を目的としているとし、10月の州選挙でPQ政権獲得のあかつきには、州は計画から撤退

し、同党が約 400 億加ドルと見積もる「ケベックの取り分」を別のインフラ整備に使うと発言。

・6 月 11 日、デリ新州環境大臣は、2035 年までに販売する新車のうちゼロエミッション車（プラグインハイブリッド車を含む）の割合を 90%から 80%にさらに引き下げると発表。ゼロエミッション目標において CAQ 政権による 2 度目の下方修正。

・6 月 12 日、仏 AI 企業ミストラル(Mistral AI)がモントリオールに事務所を開設すると発表。カナダで新規顧客獲得を目指す。AI 関連では最近トロントの企業コヒア(Cohere)もモントリオール拠点拡張を発表した。

・6 月 15 日、モントリオール・メトロポリタン空港（ロングイユ、コードは MET）の新旅客ターミナルが開業。旧サンチュベール空港時代から運航していたパスカン航空に加え、ポーター航空が国内線を就航。

・6 月 16 日、州政府は、州の自治体の水インフラ維持支援のため、2 日に発表された連邦交付金より 10 億加ドルを支出すると発表。自治体連合によると、既存の水インフラ維持だけで 400 億加ドルが必要。

・6 月 19 日、ハイドロケベック(HQ)は、ヴァレンヌ(モントリオール近郊)の「交通電化・エネルギー貯蔵センター(CEETSE)」を閉鎖。バッテリー材料開発分野の競争激化とコスト増が閉鎖の理由。

・6 月 26 日、連邦政府が実施した日本ミッションで、複数のモントリオール企業が日本企業と契約や協定を締結。1) MDA スペースは三菱電機より、日本の防衛省の次世代防衛通信衛星プログラムのアンテナ、システム等の設計、製造を受注。2) 別の宇宙関連企業 RSAT スペースは、日本の宇宙ベンチャー企業ワープスペースとの戦略的協力覚書を締結。3) 二酸化炭素回収企業ディープスカイは、三井住友銀行からの出資を獲得(出資額非公開)。

・6 月 30 日、州政府は、2026～2050 年の統合エネルギー資源管理計画を発表。州が消費するエネルギーにおける再生可能エネルギーの割合を現在の 48%から 2050 年までに 77%に引き上げることを目指す。再生可能エネルギーには、水力の他、風力、太陽光、バイオエネルギーが含まれ、原子力は含まれない。

(2) NL 州

・6 月 1 日、州政府は、ニューファンドランド島東方沖のジャンヌ・ダルク海盆に膨大な量の天然ガスが埋蔵されているとの調査結果を発表。州政府は今後、同海域のオフショアガス開発に向け新たなロイヤルティ制度の策定を進める。最良推定値は 27 兆 6000 億立方フィート。比較として、NS 州で 2019 年に閉鎖されたセーブル・オフショアガスプロジェクトは 20 年間で 2 兆立方フィートを生産した。

・6 月 11 日、ウェイカム州首相は、QC 州とのチャーチルフォールズ水力発電プロジェクト覚書の再交渉を再開したと発言。ウェイカム氏は、ラブラドルにより多くの電力供給、発電される電力の価格引き上げ、HQ の配電網を利用して余剰電力を QC 州以外のカナダ他州や米国に輸出できるようにすることを優先事項に挙げている。

(3) NS 州

・6 月 12 日、ハリファックスのアーヴィング造船所で、カナダ海軍向け新型リバー級駆逐艦の 1 隻目「HMCS フレイザー」の建造開始。2030 年代初めに納入予定。同造船所は同型艦を最大 15 隻を建造する予定。

(4) NB 州

・6 月 26 日、連邦政府が実施した日本ミッションで、ポテトチップス製造のカバードブリッジ(州中西部ハートランド近郊)がコストコジャパンと無期限供給契約を締結し日本市場に進出。 (了)